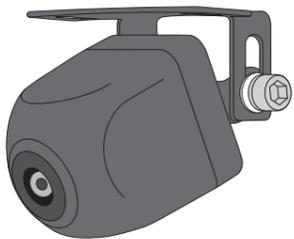


MVC811 マルチVIEWカメラ 取付説明書

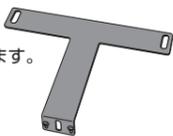


このたびは、データシステム製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

- この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。その後大切に保管し、必要な時にお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

別売 ナンバーステー NS-1

MVC811本体をフロントに設置するとき 사용합니다。(フロントナンバープレートと共締め)



保証について

本製品は、日本国内で車検を受けた車両専用に設計された製品であり、弊社が認める適合車両以外への取り付け、および日本国外での販売や使用を禁止しています。

万が一、日本国外で使用されたとしても、弊社は一切の責任・保証を負いませんのでご了解ください。

- 付属の保証書に必要な事項をすべてご記入ください。特に販売店印およびご購入日の記入がない場合、保証書は無効となります。保証期間を有効にするために、必ずユーザー登録をおこなってください。
- ※保証期間はご購入日を含めて「1年間」です。
- ※ユーザー登録をおこなわない場合、保証期間は無効となります。
- ※保証規定は保証書を参照してください。
- ※保証書はいかなる理由があっても再発行致しません。

ご相談窓口

お電話 086-486-0442 サービス(技術的なお問い合わせ・修理受付)
【受付時間】月曜日～金曜日 10:00～12:00 / 13:00～17:00
(年末年始/祝日など、弊社休業日を除く)

メールでのお問い合わせ
<https://www.datasystem.co.jp/support/index.html>

弊社製品取付・製品紹介動画サイト
<https://www.youtube.com/user/datasystem001/videos>

Data System 株式会社 データシステム
<https://www.datasystem.co.jp/>

■【本社】東京都新宿区新宿1-18-2 ■【倉敷支社】岡山県倉敷市神田1-1-11
弊社に無断で本説明書の内容・図・写真の全部、または一部の複製(コピー)・転用・転載を禁じます。
MVC811-INS-2210-AKN

仕様

有効画素数	約55万画素
水平解像度	約600TV本
水平画角	最大180°
垂直画角	最大120°
TVシステム	NTSC
電源	DC9～12V
消費電流	約76mA
動作可能温度	-20℃～+65℃
出カタイプ	正像/鏡像
ヒューズ	1A
外形寸法	幅23mm×高さ23mm×奥行き38mm (幅・高さ:ステー部除く/奥行き:ステー部含む)
重量	約30g(カメラ本体+ステー部)※ケーブル除く

保守部品の保有年数について

この製品は、補修用部品の入手性、修理後の性能保証の観点から修理対応期間(保守部品の保有年数)を製造打ち切り後、6年間に設定しています。
※修理対応期間は目安であり、実際の期間は若干異なる場合があります。修理対応期間(保守部品の保有年数)を終了している製品については、修理のご依頼をお受けできない場合があります。

内容物一覧

- MVC811本体…1個 (ケーブル長:4m)
- 電源ハーネス…1本 (ケーブル長:3m)
- コントロールスイッチ…1本 (ケーブル長:3m)
- ピン端子ケーブル…1本 (ケーブル長:6m)
- コードクリップ…4個
- タッピングスクリュー…2個
- 防水ラバー…1個
- 両面テープ…1個
- 脱脂クリーナー…1個
- エレクトロタップ…2個
- 六角レンチ…1個
- 取付/取扱説明書(本書)
- 保証書&ユーザー保証登録カード

安全上のご注意 - 最初に必ずお読みください -

注意事項の定義

注意事項は「**危険**」、「**注意**」、「**警告**」、「**重要**」に区分しており、それぞれ次の意味をあらわします。

危険	守らないと、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性が高いもの
注意	守らないと、車両および製品を破損、または故障させるおそれがあるもの
警告	守らないと、法律に違反するおそれがあるもの
重要	本製品を使用する上で知っておいていただきたいこと

取り付け上のご注意

電源ハーネスは必ず付属品を使用してください。付属品以外は使用できません。



付属のピン端子ケーブルの長さが足りないときは、別途延長ケーブルをご用意ください。



電源ハーネスのアース線は、塗装などが施されていない(金属が露出している)場所に接続してください。アース線が正しく接続されていないと、本製品が正常に動作しなかったり、本製品や車両の故障の原因となる場合があります。



本製品は12V車専用です。



車両側および本製品の配線を傷つけないよう、配線の取り直しには十分ご注意ください。また、車内に水が浸入しないよう適切な配線処理をおこなってください。



シートレールやペダルなどに噛み込まれたり、挟まれる可能性のある場所などには本製品を絶対に設置しないでください。本製品が破損したり、運転に支障をきたしたりする恐れがあります。



製品の取り付けは、必ず専門の知識・設備のある取扱業者でおこなってください。



電源ハーネスは切断して使用しないでください(延長は可)。電源回路やヒューズを切断してしまうと、正常動作しなかったり車両側の故障の原因となります。



本製品取り付けの際、静電気の帯電にご注意ください。静電気の放電によって機器が故障するおそれがあります。



本製品の分解や改造は絶対におこなわないでください。



取り付け作業前に、必ずバッテリーマイナス端子を外して車両側の電源を遮断してください。電源を遮断しない状況での取り付けは、ショートや感電など重大事故につながります。



配線部分は絶対に引っ張らないでください。断線、接触不良を引き起こす恐れがあります。



必ず車体最後部からはみ出さない位置に装着してください。車体最後部からはみ出してしまうと車体の全長が変わり、車検記載事項の変更などが必要になる場合があります。



バッテリーのマイナス端子を外す際は、事前にオーディオ機器などの設定内容をメモしておき、取り付け完了後に再入力してください。入力方法は機器の取扱説明書をご参照ください。



コントロールスイッチは運転の邪魔にならない場所に設置してください



使用上のご注意

カメラ映像は、ドアミラーやバックミラーなどと同様に、あくまで車の安全をサポートするためのものです。本製品使用中は、必ずドライバー自身が直接周囲の安全確認をおこなってください。



コントロールスイッチを操作する際は、運転中の注意力が散漫にならないようご注意ください。



自動洗車機などによる高圧洗浄はおこなわないでください。内部に水が浸入して故障の原因となる場合があります。



カメラに電源が入った直後や、カメラの使用中にカメラ映像の明るさや色あいに変化することがあります。これは周囲の明るさをカメラが検知し、映像補正するために発生する症状ですので、故障ではありません。



表示パターンによっては画像の一部がちらついたりぼやけたりする場合がありますが、これは画像補正をおこなっているため発生する症状で故障ではありません。



カメラ映像は、視野角やレンズ形状などから実際の距離とは距離感が異なったり、湾曲して見えたりする場合があります。



レンズは定期的に、または汚れていたらきれいに拭いてください。但し、レンズを拭く際は、柔らかい布などに水を含ませ、軽く拭いてください。強くこすったり乾いた布などで拭いたりすると、レンズに傷がつく原因となります。



カメラ本体およびステーは、ベンジン・シンナー・ガソリン・アルコールなど揮発性のある薬品類で拭かないでください。変質・変形などの原因となります。

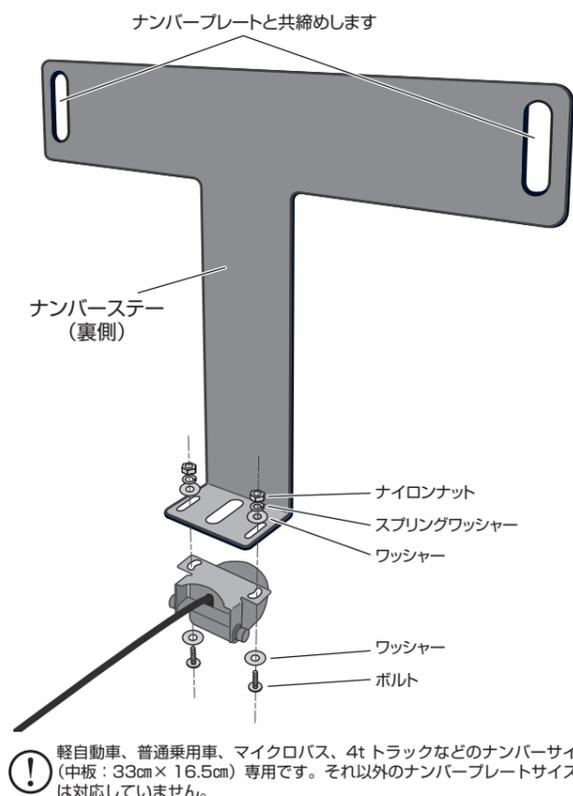


本製品を使用して発生した事故、違法行為、車両の故障または破損などの責任は一切負いません。

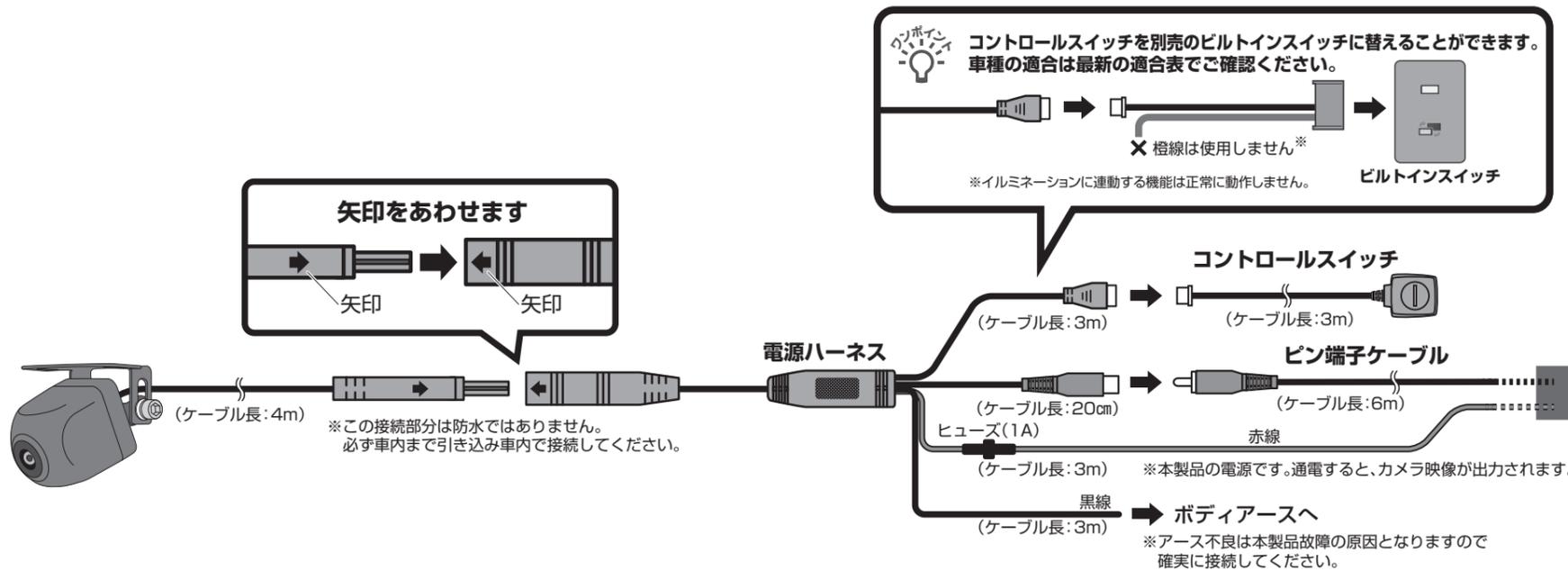


【別売】ナンバーステーのつかいかた

ナンバーステーとカメラ本体を下のように固定し、ナンバープレートと共締めします。

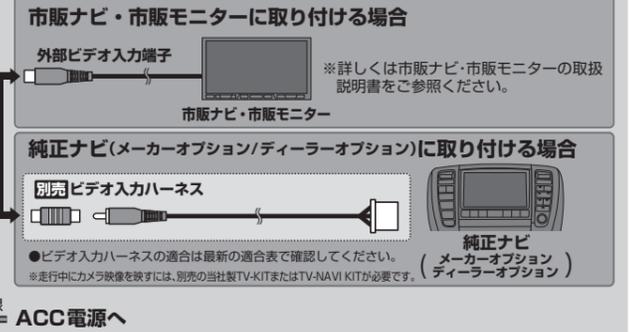


取り付け方法

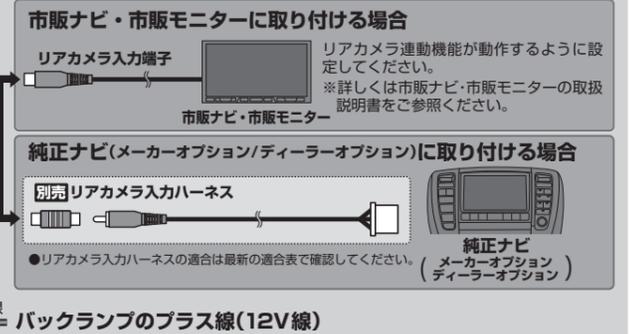


フロントカメラとして使用する場合

① カメラ映像を表示する際は、手動で外部入力画面に切り替える必要があります。



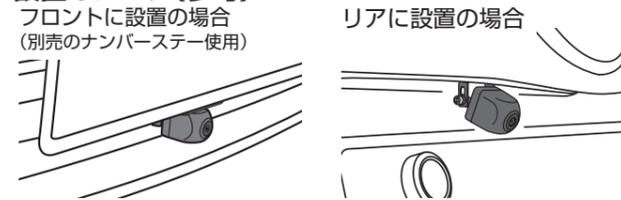
リアカメラとして使用する場合



カメラの取り付け

ポイント カメラの取り付けをはじめる前にカメラの取り付けをはじめる前に、配線をすべておこなって映像が映る状態にしておくと、カメラの映像を確認できるので取り付け位置の調整がしやすくなります。

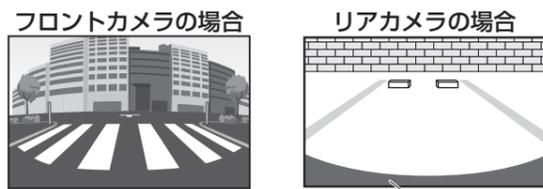
設置イメージ(参考)



1. <ナンバーステッカーを使用しない場合> カメラを取り付けることができる平らな場所を探し、ビニールテープなどで仮装着します。



2. カメラ本体と電源ハーネスを接続します。
3. ナビ・モニターにカメラの映像を表示させます。
4. 下のような表示になるよう、カメラの位置や角度を調整し、カメラ固定ネジを仮締めします。



※リアカメラとして使用する場合は設定変更が必要になります。詳しくは取扱説明書をご確認ください。

5. カメラを取り外し、脱脂クリーナーで汚れやワックスなどを落とします。

- カメラ取り付け部(車両側)
- カメラのステー部

注意

貼り付け面はしっかりと脱脂してください。脱脂が不十分だと、カメラが脱落するおそれがあります。

6. <ナンバーステッカーを使用しない場合> カメラのステーに両面テープを貼り付けます。



7. 両面テープのシートをはがして車体に貼り付けます。

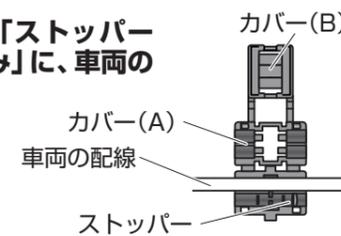
注意

両面テープが完全に密着するまで、24時間以上かかります。その間は、カメラ本体に負担をかけたり、水をかけたりしないでください。必要に応じて、付属のタッピングスクリューでしっかりと固定してください。

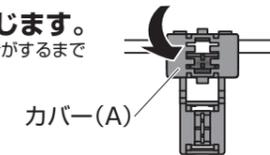
8. もう一度カメラの映像を表示させ、角度の微調整をおこないます。カメラ固定ボルトをしっかりと締め、レンズの保護シートをはがして作業終了です。

エレクトロタップのつかいかた

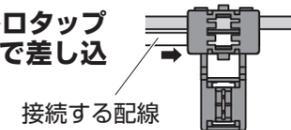
1. エレクトロタップの「ストッパーが付いていないくぼみ」に、車両の配線を重ねます。



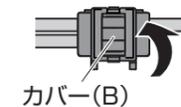
2. カバー(A)をしっかりと閉じます。※プライヤーなどを使用して「カチッ」と音がするまでしっかりと閉じてください。



3. 接続する配線を、エレクトロタップのストッパーに当たるまで差し込みます。

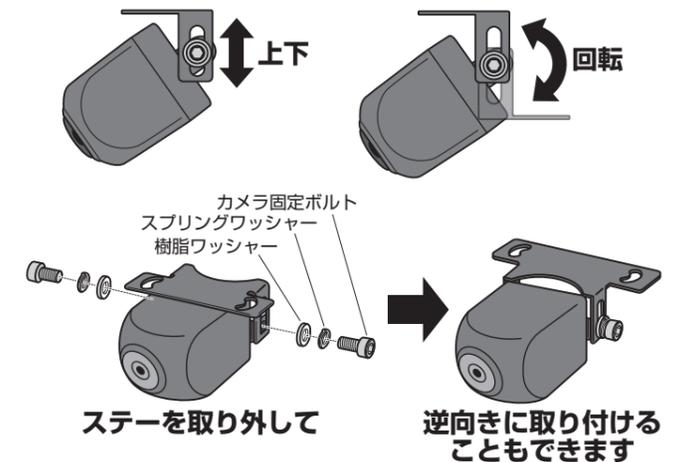


4. カバー(B)をしっかりと閉じます。※プライヤーなどを使用して「カチッ」と音がするまでしっかりと閉じてください。



カメラのステーについて

取り付ける場所に合わせて、ステーの位置を調整できます。



重要 カメラのステーを分解する際、ボルト類を紛失しないようにご注意ください。

防水ラバーのつかいかた

カメラのケーブルがトランクなどに噛み込まれると、隙間から水が入り込むおそれがあります。

付属の防水ラバーをはめ込んで、浸水を防止してください。

